

かわべ

発行 河辺村公民館
編集 館報編集委員会
電話 河辺 17番
印刷所 (有) 藤田印刷所
大洲市常盤町 327番

河辺村人口動態	
(S. 50. 5月1日現)	
世帯数	642
人口	2,501
男子	1,254
女子	1,247
(S. 45. 10月現)	
世帯数	718
人口	2,810
(S. 40. 10月現)	
世帯数	756
人口	3,599

「各会計の内訳」
六億余の総予算は、それぞれ
次のような会計に分けて組立て
られています。

村長・村議会選挙おわる

任期満了に伴う村長、村議選の投票が、去る四月二十七日に行なわれ、投票率が九六・四三%、(有権者一、六八一人という高い投票率であった。



村長 稲田三温

「ごあいさつ」

五月は男性の月といわれておりますように、新緑の若木がいつせいに力強く、伸びんとしております。

この度の選挙におきましては、格別なるご配慮を賜り衷心より厚くお礼申し上げます。

私の現在の気持は「みなさん本当にありがとうございます」この一語に尽きております。

村民各位のあたたいご支援によりまして、三度の栄が得られました事に對し、その責任の重大さを強く感じております。

今回の選挙で村民から与えられたこの重責は、私の生涯にとりまして一番重たいものであると心得、今日までの経験の上に立って、新しい進路の開發に、精誠意を努力を惜しまぬ覚悟であります。

以上、簡単な抱負の一端を申し上げ、ごあいさつといたします。

不用品の交換会

去る四月十五日、婦人会によって不用品交換会が試みられました。これは婦人学級の中で、「くらしをみなおす方法として、各家庭のタンスに眠っている品物、お互いに安値で交換して見よう」という活発な意見が出て、これが実践にうつされたもの。

この催し、なか／＼好評であったため、今秋開かれる文化祭(十一月三日)の時にもっと輪を広げて、多くの人々に利用してもらえようようにしたいと、婦人会ではハッキリしている様子……。

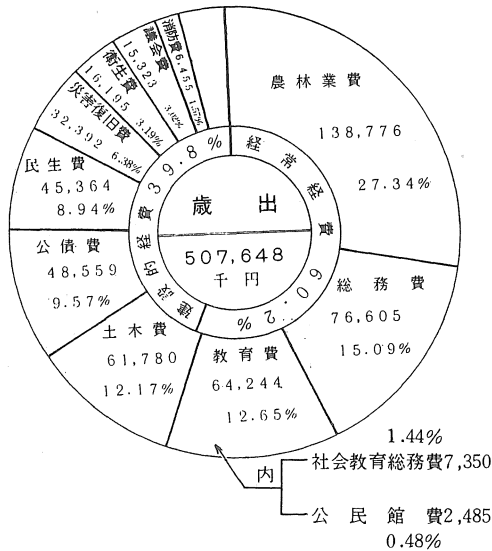
今年の村の予算額は

ムリシナイヨウニク

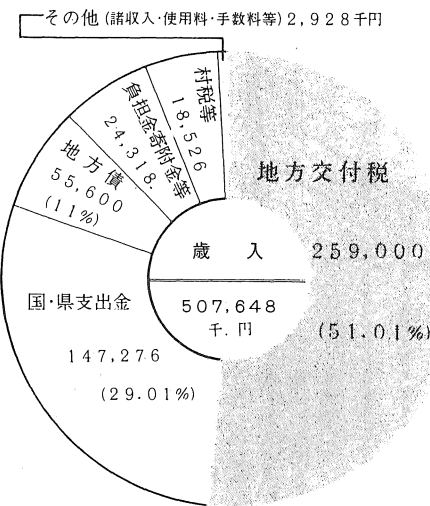
648,219,000円

(無理しないように行く)

堅実型の財政です

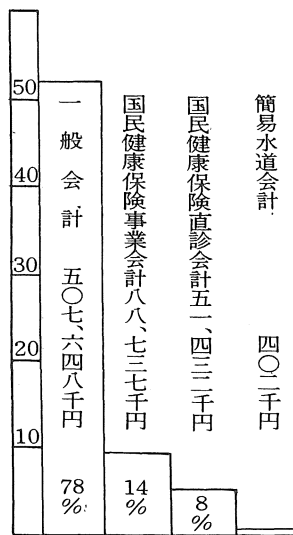


このような収入を財源として、おもな歳出は次のように計画されています。



直接、住民の福祉などにつながる一般会計の収入は、次のように区分されています。

一般会計



村議会議員の顔ぶれ

議長に森川氏

改選後の初議会が十日に招集され、正副議長、常任委員会の各委員が次のとおり選任されました。	
議長 森川重生 (四九才) 当四	副議長 中野保男 (六一才) 当三
●総務民衆委員会	
委員長 松尾正夫 (六七才) 当三	副委員長 山田通彰 (四六才) 当四
副委員長 花岡新蔵 (五九才) 当二	委員 五頭安太郎 (六八才) 再
委員 向井保 (五一才) 当二	委員 藤田藤好 (四六才) 新
委員 北川照正 (四八才) 新	委員 稲森雅生 (四八才) 新
	委員 森川重生 (四九才) 当四

母校だより

新就職のみなさんへ

みなさんお元気ですか。みなさんが就職について、もう一ヶ月が経ちました。そして春は去ろうとしています。

泣いても、笑っても君のその職場がただ一つの現実です。逃げれば敗北です。他の職場に変わることはできるにしても、それは精神的敗北です。

「我に七難八苦を与え給え」と三日目に祈ったのは尼子十勇士の一人、山中鹿之介です。

「何を言っている、私のこの苦しみがわかるものか」ともすればそんな気持ちになりがちです。君達より、もっと苦しい生活にあって、笑みを浮かべて耐えている人もあるのです。自分だけとは思えない。

さらに又、故郷を思え。君が初めて現実の社会に出て、親の苦勞がしみじみわかる。故郷にある父、母を思え。今は家庭訪問の季節でもある。茶に添えて豆いりが出る、緑の谷間に鯉のぼりが立つ。風薫る五月、男の節句の時なのだ、ただ女々しく涙すまい。ただ思え、人の恩を。

やねばし

先年、国鉄バス鹿野川駅長さんが「これ見なはいや、感心でしよう」と、枯枝の先につけた、小鳥の巣を見せられた。私も全く感心した。ビニールのセシイを巧みに使って木にまきつけ、ほかのものも交えて、文化時代にふさわしい作り方をしている。人間様は、わが巣、家を造るのに、およそ一代かかる。しかも、自分では造れず、人様にお世話になっている。

最近、河辺も新築ブームで、ある部落では、小半数が現代的な新築家屋となつて、立派である。これ皆大工という他人の作。万物の霊長たる人間様は馬鹿なのかという、そうではなく、「わが建てるなど、暇と金がおしいワイ」と、おっしゃる。

人間世界は日進月新なのに、鳥獣世界は千年、歩を進まない。人間世界は、分業文化を世界的に広げ、相互扶助の態勢を確立している。試みにお互いが、身につけていた持物、衣服等を考えよう。その第一次生産は、諸国民の手になるものである。

人間も動物も、集団生活をする本性を持っている。人類連帯の上に文化生活を満足させる、人間本来の姿なのである。

又、ヤン教も日本神道も、人類は皆同胞、兄弟、だと説いている。人類は相互に助け合い、天のもと皆、一大家族、兄弟だ、との觀念に徹して、平和世界を維持することが、人間本来の悲願であり、人間の向上本能、意欲の本能を、満足せしめる。



ふるさとの昔ばなし

大字椋谷の河地(かわぢ)に、現在、本田浅吉さんの家がある。この家の何代か前の祖先に、重衛門という体格のよい、ガイナ力持ちの男がいたという。ある時、用件があった、現在の和気権好さん宅へ行って帰る途中のことである。重衛門は、夕飯をすまして出かけたというから、夜おそくはなかつたらしい。

重衛門が、わが家近くまで帰った、もう、百米ほどの所であった。そこは、路もチートは広い、小なるみのところ、路のはたには大

きなビヤビツの木があった。重衛門は、松明(たいまつ)のあたりで前方をみると、何かデッカイものが、路でズンズンと上り下りしている。重衛門は、そのまじまじと見ると、ゾンドルのようにみえるのか、とも思った。松明を近づけて、よくみると、こりやうじや、大け

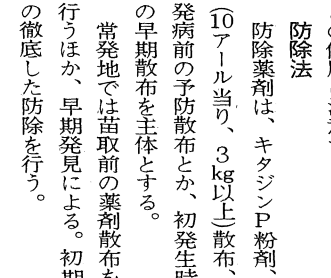
な牛鬼(ごき)じゃった。重衛門は、頭を河地川の方へむいて、牛の二度がみというやつをやった。牛鬼は、角は一本で、三尺(一米)もあり、根もとになり次第に太い、ラッシ(短かい)やつを腰にさして、たけなが、糞(うんち)のついた男で、物にイッパナ、タマゲル(直徑三〇〇厘ほどの盆)ほどのような男でないのか。

奴(やつ)は、口も少なかったが、マサカ(まさか)なると、ゲナ(ゲナ)から出す男として、皆も知った。ナ(ナ)が、イッパナ、獅子切りのダシ(ダシ)という、刀の巾のミゾイ(短かい)やつを腰にさして、たけなが、糞(うんち)のついた男で、物にイッパナ、タマゲル(直徑三〇〇厘ほどの盆)ほどのような男でないのか。

一次号へつづく
(話の提供者 丸橋 渡・高橋武夫さん 村誌編集委員 名本勲滋)

豊かな心を育てる 人づくりをめざして

- 五十年度公民館活動方針
「あらゆる人々に学習の場と機会をつくり、豊かな心を育てる人づくりと、心のかよふふるさとづくりを推進する」
以下、公民館活動計画の主なものについてお知らせします。
☆学習活動の拡充
(1)三才児をもつ親を対象にして、家庭(通信)教育を年間六回実施する。
(2)青年教室を年間六回開設する。
(3)婦人学級を年間六回開設する。
(4)希望者を募って、成人講座を随時開設する。
(5)高令者教室を年間四回開設する。
☆文化活動の振興
(1)館報を年間六回発行する(編集委員会を発足して)。
(2)四才から五才児を対象にした母と子の文庫の巡回を行なう。
(3)各種の文化グループを育成する。



河地村公民館
幼児教育から高齢者教室まで

あすの農作業
苗いもち病の発生と防除法
いもち病は、苗の頃から穂が出るまで成熟するまでの間発生する、恐ろしい病気である。
病徴は、葉に初め暗緑色の小斑点が出来、後に褐色となってくる。慢性型の病斑になると停止する。しかし、急性型の病斑になると急激に広がるので、防除の手をゆるめることができない。
病原菌は、イネワラや種モミについて越冬するから、イネワラなどの使用に注意する。
防除法
防除薬剤は、キタジキP粉剤、10アール当り、3kg以上散布。発病前の予防散布とか、初発生時の早期散布を主体とする。常発地では苗取前の薬剤散布を行うほか、早期発見による。初期の徹底した防除を行う。

農繁期の献立に工夫を
いつまでも若々しく元気で働くために、栄養のバランスを考えた食事作りをしましょう。それには次の点にポイントをおくと、便利ですよ。
☆農繁期前に、いろいろな調味料、加工食品、冷凍食品を買って揃えておく。
☆献立のめやすをたてておく。
☆保存食を五種類以上作っておく。
☆油料理を毎日食べる。
☆疲労回復に、野菜や果物を毎日たっぷり食べる。
☆保存食の種類と材料
(1)魚の南蛮漬
(冷凍魚・油・玉葱・人参・酢・醤油・唐辛子・砂糖)
(2)椎茸の鉄火味噌
(ゴマ油・椎茸の線切・ショウガのみじん切り・白ごま・醤油・砂糖)
(3)椎茸のシウウガ煮
(椎茸の線切・ショウガのみじん切り・醤油・味噌・砂糖・花かつを・白ごま・醤油・砂糖)
(4)花かつをのあんかけ
(花かつを・白ごま・醤油・砂糖)
(5)ハリハリ漬
(切干大根・ニンニク・醤油・酢・味噌・砂糖少々)
☆保存食に生野菜をかならず盛り合わせ、その他スピード料理をくみ合わせ。

民俗資料調査について
このほど文化財保護委員会が行なわれ、今年度事業として民俗資料の調査を実施する事になりました。最近では生活様式も一新されており、このままでは昔の暮らしを伝える生活用具が、不用品として捨てられてゆく傾向が出ています。現時点では、収集しても完全な保管場所がないため、とりあえず「民俗資料」として、何処の家庭にあるか。それはどのような時に使用されたものか。などの点について調査を行ない、登録台帳を作成する予定です。これは後日、展示会等での出品依頼が容易に行なわれ、又保存意識の高揚にも役立つ事と思われまします。是非とも、皆さんの協力をお願いします!!
成人講座をはじめます!!
—受講者募集中—
この豊かな日々のためにあなたもどうぞ。受講希望の方は公民館へ電話で申し込み下さい。
講座名 内容 期 間
楽焼講座 手作り焼物 月 月 月
楽しみませんか? 月 月 月
写真講座 撮影の仕方など 月 月 月
を要する。

男子ソフトボール大会
坂本分館が優勝

優勝	坂本	15
準優勝	北	10
3位	植	18
4位	松	18
5位	大	21
6位	本	13

公民館主催による男子ソフトボール大会が五月十一日、午前九時から中学校グラウンドにおいて開催されました。
各分館のチームが参加して、熱戦をくりひろげた結果、坂本分館チームが優勝しました。
準優勝は大分分館チーム。
得点内容は次のとおり。

歌
芽吹きたるツツジの小鉢春日さす
玄関におきて日々たのしみ
五十雨で落葉野山に伸び
春の味覚を夕食に愛でぬ
名本勲滋
峰谷を木々とりどりの色なして
椎の木の花白く目だたり
理科室の裏せどにありアカシヤの
花つつましき白のたれふさ
河本キヨカ
五年振りか君に逢いたり検審会に
姑になりしをともに語れり
四十九日明けしとあど飾るなり
父親のなき孫の初難
清水菊江
菌入れも漸くすみしひるさがり
つかれをさそう松虫の声
晴れの今朝よ吾子のふとんを干し
つつも
無事を祈りて帰る日をまつ
船田正路
きんぎょえーいきんぎょえーい
こえ谷あいにこだまして
わがやまの夏を呼ぶなり
日にいくどかエビネの鉢のまゑに
たち
わが最良のときを愛しむ
上林ヨシ子
週に一度の訪問のしみ待つと言
う
老婆は長く一人住みいて
若き頃のこと樂しげに語る老婆の
頬にはほんのり紅のさしいて

短
川崎 父 恒義 兄 健二
横山 父 武敏 弟 三郎
中居 母 敏 二宮 光
神納 父 福美 土居 鶴子
百合谷 父 正寿 大森 誠
大成 父 恒幸 田中 孝幸
大成 父 房道 富永 美佐
(結婚) 末ながくお幸せに!!
田中 弘 (川崎)
西山 三子 (内子町)
渡部 磯若 (植松)
藤原 紀子 (五十崎町)
(死亡) お悔み申し上げます。
坂本 石田 健 (六〇才)
国木 増本 健 (八〇才)
中居 二宮 健 (八三才)
横山 山本 惣市 (六八才)
名場 連 高橋 佐助 (七四才)

僕のおかあさん
坂本小6年 松本治貴
僕はおかあさん、とてもあつさりしている。おこつたかと思つて、一時間ほどしたらつかつて忘れてしまった。僕のおかあさんは、よく働くおかあさんだ。朝は夕方からなにかあったら、たまたま、とても早い。おかあさんのじまん話といえは、あつさりしていること、とてもきびしいこと、ことだ。これだけは、アメリカへ行つても、イギリスへ行つても、だれにも負けない、世界一だと思ふ。
僕は、小さいころの、こんなことをおぼえている。保育園に行くまでに、ジカチュウドクという病にかかっていたことがある。その時は、よく大洲の病院へ行った。
おかあさんは、夜もろくろくねむらずに僕の頭をよさつた。僕をよさつてくれたりして、薬を飲ませてくれたりして、手は、世界一の手だと思つた。
今ごろは、おこつたり、勉強はしたか、とか、よくおぼつた。僕が保育園のころのおかあさんの方がよいと思ふこと

消息
自 3月1日
至 5月15日
(出生) おめでとございます。
川崎 父 恒義 兄 健二
横山 父 武敏 弟 三郎
中居 母 敏 二宮 光
神納 父 福美 土居 鶴子
百合谷 父 正寿 大森 誠
大成 父 恒幸 田中 孝幸
大成 父 房道 富永 美佐
(結婚) 末ながくお幸せに!!
田中 弘 (川崎)
西山 三子 (内子町)
渡部 磯若 (植松)
藤原 紀子 (五十崎町)
(死亡) お悔み申し上げます。
坂本 石田 健 (六〇才)
国木 増本 健 (八〇才)
中居 二宮 健 (八三才)
横山 山本 惣市 (六八才)
名場 連 高橋 佐助 (七四才)